

データを“取る・読む・使う”農業

TPP11、日米通商交渉等々、日本の農業は大きな転換点に立っています。このような情勢の中で、日本の農業を維持・発展させてゆくためにはこれまでの経験と勘に頼った営農とは異なる方法にもチャレンジしてゆく必要があります。その一つに、暗黙知を形式知に変えて共有する、作物や環境の変化をデータとして“取り・解釈し・活用する”、いわゆるデータ駆動型農業の取り組みがあります。

今回は、高価な機器からなるシステムではなく、身近にある材料を使ってこうした農業をサポートしてこられた研究者と民間の立場から取り組んでこられた企業の方、実際の営農活動で実践されている中堅農家の方々の経験をお伺いすることで、「データを“取る・読む・使う”農業」の一端に触れたいと思います。

NPO法人近畿アグリハイテク 理事長 深見 治一（京都先端科学大学名誉教授）

■内 容：

1. データ活用型農業のすすめ

～簡単・安価にできる作物・環境記録装置作成の紹介を兼ねて～

近畿大学生物理工学部（作物生産工学研究室）教授 星 岳彦 氏

2. DIY型環境制御システムの導入事例と展望

（株）ワビット代表取締役社長 戸板 裕康 氏

3. スイートピー生産者によるデータ活用の取り組み

～手作りシステムで勘・経験表現を数値化する～

岡山県倉敷市船穂町花き栽培農家 木下 良一 氏

4. 機械学習によるキュウリの自動選別システムの開発

静岡県湖西市きゅうり農家／組み込みエンジニア 小池 誠 氏

■日 時：2019年10月8日（火）13：00～17：00

■場 所：キャンパスプラザ京都第2講義室（4階）

〒600-8216

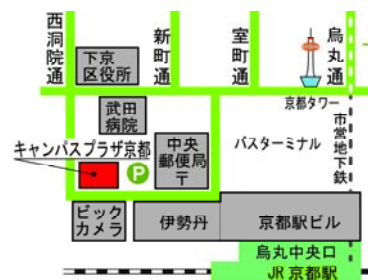
京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

■参加費：無料（会員でなくても参加できます）

■主 催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

特定非営利活動法人 近畿アグリハイテク

（公社）農林水産・食品産業技術振興協会（JATAFF）



※本セミナーは、農林水産省の実施する委託事業「『知』の集積による産学連携支援事業」の一環として実施するものです

